フォルダエクスポート

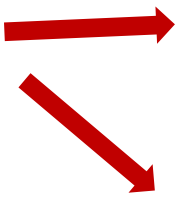
フォルダ内のすべてのテーブルを、まとめてCSVファイルまたはExcelファイルに出力する

◇機能

《フォルダエクスポート》は、テーブルフォルダ（「04_table」）内の1つのフォルダについて、そのフォルダとサブフォルダにあるすべてのテーブルを、1回の操作でCSVファイルまたはExcelファイルに出力する機能です。テーブルごとに1つのファイルを作成するほか、Excelの場合はフォルダごと、またはすべてのテーブルを1つのファイルにまとめることもできます。

テーブル「売上¥東京店」

売上日	商品No	単価	数量	備考
2023/01/10	101	100	4	
2023/01/10	102	150	3	
2023/01/10	103	90	-5	返品



CSVファイル「東京店.csv」

```
"売上日","商品No","単価","数量","備考"
"2023/01/10","101","100","4",""
"2023/01/10","102","150","3",""
"2023/01/10","103","90","-5","返品"
```

Excelファイル「東京店.xlsx」

売上日	商品No	単価	数量	備考
2023/01/10	101	100	4	
2023/01/10	102	150	3	
2023/01/10	103	90	-5	返品

東京店

※初期設定では、テーブルフォルダ内のフォルダ構成（サブフォルダ）が、保存先にそのまま作成されます。「サブフォルダを作成しない」をオンにすると、すべてのファイルが保存先のフォルダに直接作成されます（「◇フォルダエクスポートの結果」参照）。

※元のテーブルは変更されません。

◇メニュー

《分析》-《フォルダエクスポート》

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログでフォルダエクスポートのコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

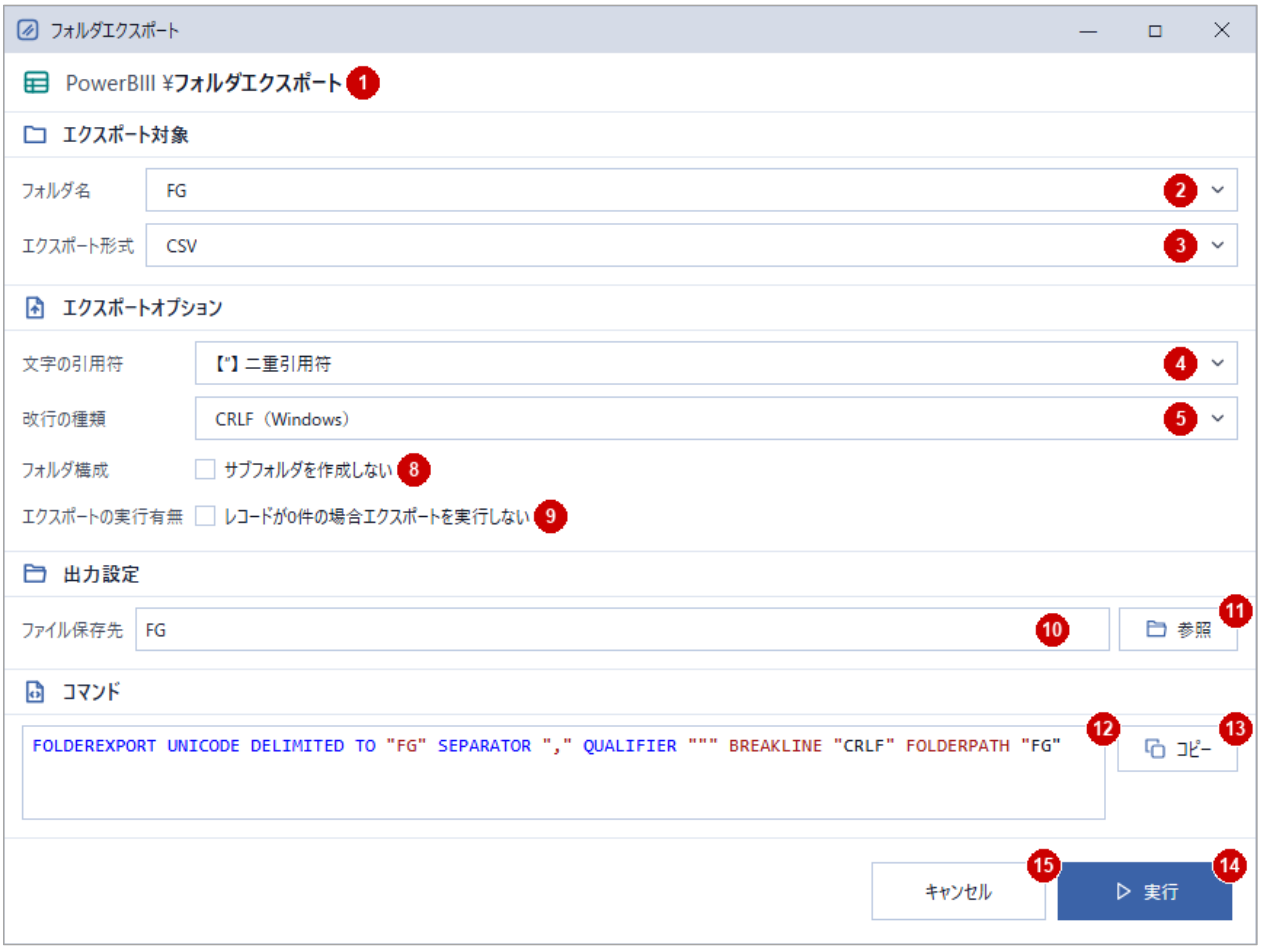
※フォルダ、ファイルの形式、引用符、改行、出力方法、オプション、保存先が、コマンドのとおりに設定されます。

※区切り文字は、常に「,」（カンマ）になります。

※フォルダが削除されている場合は、画面は開きません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. プロジェクト名　：開いているプロジェクトの名前と「フォルダエクスポート」が表示されます。

2. フォルダ名（必須）　：出力するテーブルがあるフォルダを選択します。選択したフォルダと、そのサブフォルダにあるすべてのテーブルが出力されます。
   - テーブルフォルダ内のすべてのフォルダ（サブフォルダも含む）が「フォルダ名¥サブフォルダ名」で表示されます。続いて、参照プロジェクトのフォルダが「プロジェクト名:フォルダ名」で表示されます。
   - 一覧の上の検索欄に文字を入力すると、その文字を含むフォルダだけが表示されます。↑↓キーで移動、Enterキーで選択できます。
   - 初期値は一覧の最初のフォルダです。フォルダを選択すると、「ファイル保存先」がそのフォルダ（例：「売上¥2024」）に置き換わります。

3. エクスポート形式　：出力するファイルの形式（CSV／EXCEL）を選択します。初期値はCSVです。選択した形式によって、下の設定項目が切り替わります。

4. 文字の引用符（CSV）　：CSVファイルで値を囲む文字を選択します（【"】二重引用符／【'】一重引用符／なし）。初期値は「【"】二重引用符」です。
   - 区切り文字は、常に「,」（カンマ）です。

5. 改行の種類（CSV）　：レコードの区切りの改行コードを選択します（CRLF（Windows）／LF（UNIX系））。初期値は「CRLF（Windows）」です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

8. サブフォルダを作成しない　：オンにすると、フォルダ構成（サブフォルダ）を作成せずに、すべてのファイルを「ファイル保存先」のフォルダに直接作成します。初期値はオフです。
   - 「出力方法」が「一つのファイルにエクスポートする（全てのフォルダ）」の場合は、ファイルが1つのため使用できません（グレーで表示されます）。
   - 作成されるファイルは「◇フォルダエクスポートの結果」を参照してください。

9. レコードが0件の場合エクスポートを実行しない
   ：オンにすると、レコードが0件のテーブルは出力しません。オフの場合は、フィールド名の行だけのファイル（シート）が作成されます。
   - すべてのテーブルが0件の場合は、ファイルは作成されず、メッセージも表示されずに画面が閉じます。

10. ファイル保存先（任意）　：ファイルを保存するフォルダを入力します。初期値は、選択したフォルダです。
   - フォルダ名だけの場合は「05_export」フォルダ内に、「03_source¥フォルダ名」「05_export¥フォルダ名」の場合はそのフォルダに保存されます。フォルダがない場合は作成されます。
   - 空欄の場合は、「05_export」フォルダ内に保存されます（「◇フォルダエクスポートの結果」参照）。
   - フルパスを入力する場合は、プロジェクトの「03_source」「05_export」フォルダ内を指定します。それ以外の場所やネットワーク上のフォルダには保存できません。
   - フォルダ名の長さは、64文字までです。「*」などの記号、名前の先頭・末尾の空白、末尾の「.」、「CON」「NUL」などWindowsで使用できない名前は使用できません（「-」「.」は使用できます）。
   - 最後の「¥」、途中の「¥¥」「..」は入力できません。
   - フルパスの長さは、ファイルが259文字まで、フォルダが247文字までです。
   - 「一つのファイルにエクスポートする（全てのフォルダ）」の場合は、最後の名前がファイル名になります（拡張子は付けずに入力します）。
   - 同じ名前のファイルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます（「◇フォルダエクスポートの結果」参照）。

11. 《参照》ボタン　：フォルダの選択画面を開き、保存先を選択できます。「05_export」フォルダ内を選択した場合はフォルダ名が、それ以外の場合はフルパスが入力されます。

12. コマンド　：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。フォルダがない場合は空欄です。

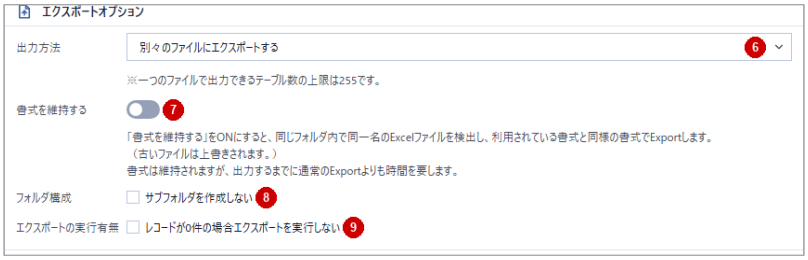
13. 《コピー》ボタン　：コマンドをクリップボードにコピーします。

14. 《実行》ボタン　：実行します（Enterキー）。ファイルが作成されると、画面が閉じます。

15. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「エクスポート形式」で「EXCEL」を選択した場合



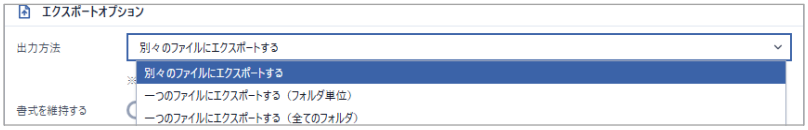
6. 出力方法（EXCEL）　：Excelファイルの作り方を、次の①～③から選択します。初期値は①です。

- ①「別々のファイルにエクスポートする」：テーブルごとに1つのファイルを作成します。
- ②「一つのファイルにエクスポートする（フォルダ単位）」：テーブルがあるフォルダごとに1つのファイルを作成します。ファイル名はフォルダ名です。
- ③「一つのファイルにエクスポートする（全てのフォルダ）」：すべてのテーブルを1つのファイルにまとめます。
- 1つのファイルにまとめることができるテーブルは、255個までです。

7. 書式を維持する（EXCEL）　：オンにすると、出力先のフォルダにある同じ名前のExcelファイルを検出し、そのファイルと同様の書式で出力します。

- 元のファイルは上書きされます。また、通常よりも出力に時間がかかります。

■「出力方法」の一覧



◇フォルダエクスポートの結果

次のテーブルがある「売上」フォルダを、「ファイル保存先」を「出力」にして出力した場合、次のファイルが作成されます。

テーブルフォルダ（04_table）
売上¥東京店、売上¥大阪店、売上¥2024¥名古屋店

■ 初期設定の場合（フォルダ構成を作成する）

※①～③は「出力方法」の選択肢です（「◇設定内容」参照）。

形式	作成されるファイル（05_export内）	シート
CSV	出力¥売上¥東京店.csv	—
	出力¥売上¥大阪店.csv	—
	出力¥売上¥2024¥名古屋店.csv	—
EXCEL ①	出力¥売上¥東京店.xlsx	東京店
	出力¥売上¥大阪店.xlsx	大阪店
	出力¥売上¥2024¥名古屋店.xlsx	名古屋店
EXCEL ②	出力¥売上¥売上.xlsx	東京店、大阪店
	出力¥売上¥2024¥2024.xlsx	名古屋店
EXCEL ③	出力.xlsx	東京店、大阪店、名古屋店

※テーブルフォルダ内のフォルダ名（「売上」）も、保存先の下に作成されます。「ファイル保存先」が初期値（選択したフォルダ名）のままの場合、「05_export¥売上¥売上¥東京店.csv」のように、フォルダ名が2回続きます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

※「ファイル保存先」が空欄の場合は、「05_export¥売上¥東京店.csv」のようになります。

■「サブフォルダを作成しない」をオンにした場合

フォルダ構成を作成せずに、すべてのファイルが「出力」フォルダに直接作成されます。

形式	作成されるファイル（05_export内）	シート
CSV	出力¥東京店.csv、出力¥大阪店.csv、出力¥名古屋店.csv	—
EXCEL ①	出力¥東京店.xlsx、出力¥大阪店.xlsx、出力¥名古屋店.xlsx	テーブル名
EXCEL ②	出力¥売上.xlsx	東京店、大阪店
	出力¥2024.xlsx	名古屋店
EXCEL ③	（オンにできません）	—

※「ファイル保存先」が空欄の場合は、「05_export¥売上」フォルダに直接作成されます。

※②で、テーブルがあるフォルダに同じ名前のもの（例：「売上¥2024」と「売上¥東日本¥2024」）がある場合は、同じファイル名になるため出力できません（「◇入力内容に誤りがある場合」参照）。

※ファイルの内容は、初期設定の場合と同じです。

■ CSVファイル

※文字コードはUTF-8（BOM付き）です。1行目はフィールド名の行で、続いて1レコードが1行で出力されます。最後の行の後には改行は入りません。

※すべての値（数値や日付も）が、「文字の引用符」で選択した文字で囲まれます。「【"】二重引用符」の場合、値の中の「"」は「""」になります。

文字の引用符	出力の例（2行目）
【"】二重引用符	"2023/01/10","101","100","4",""
【'】一重引用符	'2023/01/10','101','100','4',''
なし	2023/01/10,101,100,4,

■ Excelファイル

※各シートの1行目にフィールド名、2行目から各レコードが出力されます。数値は数値として出力されます。

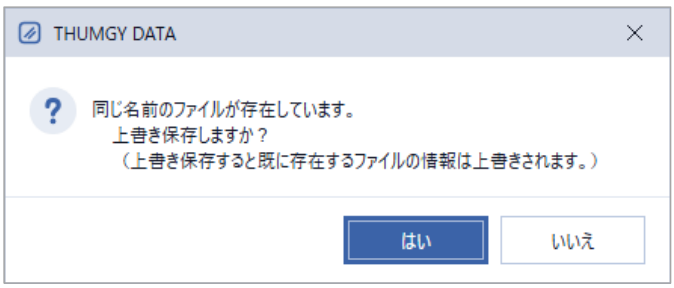
※シート名はテーブル名です。31文字を超える場合は短くなり、1つのファイル内で同じ名前になる場合は「_1」が付きます。

※1つのシートに出力できるのは、1,048,500レコードまでです。超える場合は、「ファイル名_1.xlsx」のように別のファイルに分けて出力されます。

※同じ名前のExcelファイルがある場合は、そのファイルに出力されます。同じ名前のシートは置き換えられ、ほかのシートはそのまま残ります。

■ 同じ名前のファイルがある場合

実行すると、次のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると上書きされ、「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。



※出力先のExcelファイルがExcelで開かれている場合は、メッセージが表示され、出力されません。ファイルを閉じてから、もう一度実行してください。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。

※フォルダがない場合、または選択したフォルダが削除されている場合は、「フォルダ名」が赤枠で示されます。

※「サブフォルダを作成しない」をオンにして「出力方法」が②の場合に、同じ名前のフォルダがあると、次のメッセージが表示されます。「サブフォルダを作成しない」をオフにするか、「出力方法」を変更してください。



※「ファイル保存先」の誤り（使用できない文字など）は、実行したときにエラー画面で示されます。

◇操作ログ

CSVの場合

FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO "保存先" **SEPARATOR** "," **QUALIFIER** 引用符 **BREAKLINE** 改行の種類 **NOSUBFOLDER FOLDERPATH** "フォルダ" **SKIP IF EMPTY**

Excelの場合

FOLDEREXPORT EXCEL TO "保存先" 出力方法 **FORMATON NOSUBFOLDER FOLDERPATH** "フォルダ" **SKIP IF EMPTY**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
UNICODE DELIMITED	CSVファイル（UTF-8）で出力	3
EXCEL	Excelファイルで出力	3
TO "保存先"	保存先のフォルダ（空欄も可）	10
SEPARATOR ","	区切り文字（常にカンマ）	—
QUALIFIER """ ／ "'" ／ NONE	値を囲む文字（二重／一重／なし）	4
BREAKLINE "CRLF" ／ "LF"	改行の種類	5
SEPARATE ／ COMPILE ／ COMPILEALL	出力方法の①／②／③	6
FORMATON	同じ名前のExcelファイルの書式を維持	7
NOSUBFOLDER	フォルダ構成を作成しない	8
FOLDERPATH "フォルダ"	出力するフォルダ	2
SKIP IF EMPTY	0件のテーブルは出力しない	9

※下線部は、「書式を維持する」（FORMATON）、「サブフォルダを作成しない」（NOSUBFOLDER）、「レコードが0件の場合エクスポートを実行しない」（SKIP IF EMPTY）をオンにした場合に記述されます。

※出力方法が③（COMPILEALL）の場合は、NOSUBFOLDERは記述されません。

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※キーワードは、半角の大文字で記述し、上の構文の順に記述します。順序が異なるとエラーになります。

※CSVの場合、「SEPARATOR」と「QUALIFIER」は省略できません。「BREAKLINE」を省略すると、「CRLF」になります。

※「BREAKLINE」は "CRLF" または "LF" と大文字で指定します。

※「SEPARATOR」には、「,」以外の区切り文字（「;」など）も指定できます。

※Excelの場合、出力方法（SEPARATE／COMPILE／COMPILEALL）は省略できません。「FORMATON」は出力方法の後に記述します。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

※「COMPILEALL」と「NOSUBFOLDER」は、同時に記述できません。

※参照プロジェクトのフォルダは、「FOLDERPATH "プロジェクト名: フォルダ名"」と記述します。

例

```
FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO "出力" SEPARATOR "," QUALIFIER """ BREAKLINE "CRLF"
FOLDERPATH "売上"
FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO "" SEPARATOR "," QUALIFIER NONE BREAKLINE "LF"
NOSUBFOLDER FOLDERPATH "売上¥2024" SKIP IF EMPTY
FOLDEREXPORT EXCEL TO "出力" COMPILE FORMATON NOSUBFOLDER FOLDERPATH "売上"
FOLDEREXPORT EXCEL TO "03_source¥月次¥売上集計" COMPILEALL FOLDERPATH "売上"
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.